

法人(事業所)理念	「すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけてさしあげる集団になろう！」			
支援方針	<p>個別支援の充実：一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供する。</p> <p>小集団活動の促進：コミュニケーション力や社会性を高めるために、小集団での活動を取り入れる。</p> <p>スモールステップの学習：無理のないペースで成功体験を積み重ね、自信を育てる。</p> <p>感覚統合アプローチ：感覚の偏りに配慮し、適切な感覚刺激を提供することで身体の使い方をサポートする。</p> <p>言語発達支援：理解言語や表出言語を増やし、コミュニケーションの幅を広げる支援を行う。</p> <p>日常生活動作の習得：生活に必要な動作を自立して行えるよう支援する。</p> <p>協調運動・粗大運動：身体の使い方やバランス感覚を養い、運動能力の向上を目指す。</p> <p>運動能力の発達支援：手先の器用さを育てるために、運筆やボタン掛けなどのトレーニングを取り入れる。</p> <p>音韻意識の向上：言葉のリズムや音を意識し、文字の学習につなげる支援を行う。</p> <p>視覚的支援の活用：スケジュールや課題を見える化し、理解しやすい環境を整える。</p> <p>安心できる環境づくり：児童が安心して活動できるよう、配慮の行き届いた環境を提供する。</p> <p>保護者様との連携：定期的な相談や情報共有を行い、家庭と連携しながら支援を進める。</p> <p>※このような支援方針を基に、児童一人ひとりの成長を支える環境を整えていきます。</p>			
営業時間	9時 30分から 17時 30分まで	送迎実施の有無	あり	<p>※午後のみ、保護者様の出席前後、就労等のご事情に応じて、曜日・日時、送迎可能な地域等考慮した上で、ご相談に応じられる場合があります。</p>
支 援 内 容				
健康・生活	<p>■ねらい 健康状態の維持・生活習慣や生活リズムの形成・基本的な生活スキルの獲得</p> <p>健康状態の維持・改善、健康の増進 発達段階の保護者様からのお子様の健康状態の確認と体温チェック、平常と違った様子などに異変に気づけるようにきめ細やかな観察を行う。毎日、運動に取り組み。</p> <p>生活習慣や生活リズムの形成と基本的な生活スキルの獲得 生活リズムを整える（日中活動を落ち着かせるものにするなどで覚醒レベルを上げる）。排泄（決まった時間にトイレに誘導し、排泄習慣を形成する）、着替え（生活の場面で衣服を換えることなど）、衣類の整理（生活の場面で技能を獲得することを促したり、個別に練習する）。身の回りを清潔に保つ（生活の場面で、持ち物の整理整頓を習慣化する）。病気の予防（手洗い指導・熱中症について（水分補給）・室内の換気・室温調整・備品の消費・室内の加湿を行う）。食事（食具の操作練習等、手指の運動機能、姿勢の保持の向上を支援する）。</p> <p>教室化による生活環境の調整 教室の中で、様々な活動や遊びを通して学びが促進されるように時間や空間を本人に分かりやすいように構造化し、環境を整える。一日のスケジュールをイラストで提示し、見通しを立てて過ごせるようにする。手順のある作業では最初に見本を見せたり、手順をイラストでわかりやすく視覚化する。</p> <p>リハビリテーションの実施 日常生活や社会生活を営めるよう、お子さま一人ひとりの状態を考慮し、その状態に適した身体的・心理的・社会的支援を行う（お子さまのニーズや状態に適した課題を考案し提供する）。</p>			
運動・感覚	<p>■ねらい 姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上・姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用・身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用・感覚の補助及び代行手段の活用・感覚の特性への対応</p> <p>姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上 運動プログラムを毎日実施。運動キット（太鼓鼓棒・マット運動・ジャンプ・ケンケン・トンネルくぐり等）。大なわとび、静と動（自律神経の調整力）・新聞やぶり・動物模倣 運動・パルン・タオル運動。絵描き歌・セラピーパテ・粘土・ぬり絵・積み木つみ・製作等の微細運動。</p> <p>姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 パラスボール・木馬、音楽に合わせて身体を動かす遊び（リトミックなど）・手遊び歌・プロジェクターを用いた模倣ダンス。風船遊び、魚釣りほか。</p> <p>身体の移動能力の向上 リズムウォーク・いす取りゲーム・三輪車・転がしドッチ・踏み台昇降、バナナ鬼ごっこ、動物園へ行こう。大縄跳びほか。</p> <p>保有する感覚の活用 触覚やビジョン、聴覚、固有覚、前庭覚の発達を促進する感覚統合運動のメニュー（ボルタリング・鉄棒がら下がり、綱引き・布田やクッションの中に狭まる遊び、紙コップタワー、お高跳び、缶ぽっくり、バランスディスク、トランポリン・シーソー遊び、ボール投げ、抱っこで揺れ遊び、平均台・木馬ほか）。楽器（演奏）・数字探し・リアクションボール</p> <p>感覚の補助及び代行手段の活用 感覚過敏、感覚鈍麻への対応。一人ひとりの特性の理解と配慮、環境設定等の支援。</p>			
本人支援 認知・行動	<p>■ねらい 認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手がかりとなる概念の形成）、行動障害への予防及び対応</p> <p>認知の特性についての理解と対応 視覚の座位さ・聴覚の座位さ・注意制御、記憶、イメージ情報、継次処理、同時処理、プランニング等、特性に配慮した方法で支援。視覚や聴覚、触覚などの感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す支援。</p> <p>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 知育玩具（型はめ・総合わせ・タンogramほか）・物を目で追う（くるくるチャイム・ミニカー・リアクションボールほか）・皮膚刺激に慣れる、手の操作（スプーンやフォークの練習・バズ産し・セラピーパテ・粘土ほか）・物を置く（へび笛）など…。興味のあるものを探り、より自発的に体験し達成感が味わえるように取り組む。</p> <p>感覚の活用や認知機能の発達 色や形の抽出・名詞の理解・用途の理解・聴覚や音の理解・身振りの理解、対象指示活動（応答の指差し・要求の指差し・同じもの同士の線結び）、色と形の抽出・名詞による御用学習・用途による理解、動作語の理解、名詞の複数指示の理解等。</p> <p>知覚から行動への認知過程の発達 目と手の関係（はさみなど製作・お箸の練習・ぬり絵・お絵描き・ひも通し・沈黙パサミ・ボタン・運筆ほか）、動作模倣（手遊び歌・模倣運動・ダンス）・手段と目的の分化（道具の使用）、弁別と分類、マッチング（色や形）、名詞の指示で物を取る（名詞の理解を確実にする）、パズル・ペーパーサート・指示実行課題ほか。</p> <p>認知や行動の手がかりとなる概念の形成 認知（位相パズル）、同じの理解、違うに気づく・大小比較、カテゴリー分類、文字を模写・空間における位置関係、因果関係・多面からの質問への応答、文字を書く・時間の概念・視覚的の理解（知識による推測）、数える・数量の比較、数字の大小の理解、量かイメージの世界（何が見えて？部分から全体をイメージする）、なぞなぞ、3ヒントクイズ・ソーシャルスキルとしての言葉・自我形成を促す・お買い物ごっこ・スライク割り等。</p> <p>行動障害への予防及び対応 感覚や認知の妨げにより、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援。</p>			
言語 コミュニケーション	<p>■ねらい コミュニケーションの基礎的能力の向上、意思の受容と表出、言語の形成と活用、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 コミュニケーション手段の選択と活用・状況に応じたコミュニケーション・読み書き能力の向上</p> <p>コミュニケーションの基礎的能力の向上 身体を使ったノンバーバルなコミュニケーション（ふれあい遊び等）、人への関心（アイコンタクト、積極的働きかけ）、人と人の二重関係（情動的共鳴）・三項関係の認識（共同注意・身ぶり・指差し、物のやり取り）=いないないばあ、落とす→ダメ→落とす→ダメ（だめと言われることをわざとする遊び）等。</p> <p>言語の受容と表出 追跡注視（社会的手がかりを介した言葉の意味理解）、自分の名前がわかる、「はいいいい」「ちようだい」「おいで」「だめ」「わんわん」「ねんね」等理解する。「ママ」「はい」「わんわん」「にやんにやん」「だっこ」等単語を表出する。好きなキャラクターや興味のある物を使用した課題を作り、そのやり取りを通して楽しむことで自然な表出を促す支援、絵本の読み聞かせやインターネットシアター等を介した概念形成や意味の発達を促す支援、指示理解・結果理解を促す支援。</p> <p>言語の形成と活用 構音の発達支援（口出し歌・へび笛等吹く遊び）・音韻レッスン（ピアノのリズムと絵カード提示によるリズム発声）、二語文の音声模倣・三語文、多語文で助詞を意図させる課題等 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 共同注意・指差しや身振り、サイン等の非言語コミュニケーションの活用、質問と返答、生活の場で相手の意図を理解したり自分の考えを伝える双方向の会話（言葉のキャッチボールやSST）、「一人絵本（もの）一人」の三項関係の様々なやり取りを通して言葉の理解と表出および言語コミュニケーション・語用論的発達支援（文脈の理解＝簡単なコミック会話等の支援）。</p> <p>コミュニケーション手段の選択と活用 言葉だけでなくイラスト・文字・シンボル等のコミュニケーション手段を選択・活用し、子どもに合わせた視覚的な支援。</p> <p>読み書き能力の向上 一画一画の音韻意識を育てる課題・しりとり・ひらがなすごろく・ひらがなの読み、ひらがな並べ、ひらがなのなぞり書き・文字の模写等就学に必要な準備を整える。</p>			
人間関係 社会性	<p>■ねらい アタッチメント（愛着）の形成と安定、遊びを通じて社会性の発達、自己理解と行動の調整・仲間づくりと集団への参加</p> <p>アタッチメントの形成と安定 子どもにとっての安全基地となる存在としての支援、環境への安心感（特性に配慮した環境設定）と大人に対する信頼感を通して自己肯定感や自信を育む支援を行う。</p> <p>遊びを通じて社会性の促進 模倣の練習、自由遊びの時間を療育の機会ととらえ、大人が介入しながら一人遊びから傍観遊び、並行遊び、やり取り遊び等、遊びの発達を促す。また、見立て遊び（ままごと、役割分担）やルールを守っての共同遊び等）を通して社会性の発達支援を行う。</p> <p>自己の理解と行動の調整 大人の共感的な関わりによる情動の相互調整から自己調整への支援。感情認知（表情の理解・絵本の読み聞かせや紙芝居による共感、気持ちの温度計等）への支援。</p> <p>仲間づくりと集団への参加 大人が介入した小集団活動への参加、自由遊び場面の関わり・心の理論（他者視点の理解の発達）、個別の特性に配慮したわかりやすいルール説明等。</p>			
家族支援	保護者のニーズを踏まえ、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。 子育ての困りごとへの相談支援 保護者同士の交流の機会提供（保護者会の開催）。 兄弟姉妹への相談支援。	移行支援	インクルージョンの推進。 年長児に対する就学準備プログラムの実施。 就学相談支援（MSAなど）のような支援を必要としているかを明らかにする心理検査の実施。 併用利用先や関との情報共有や支援のすり合わせ。	
地域支援・地域連携	併用事業所や園との支援方法や環境調整の情報共有や連携支援。 相談支援事業所との情報共有と具体的な支援についての考察、連携。 防災を含めた地域住民や関係機関との連携。 行事による交流（ハロウィン・餅つき大会ほか）。	職員の質の向上	個人的な研修参加への受援補助。 本部からのSVの派遣（実務の事象について行動観察後、具体的な支援についての提案）。 虐待防止、身体拘束・感染症の必須研修の受講。 定期的な支援会議の開催。 多職種スタッフの輪番制による支援研修の定期的な実施。	
主な行事等	流しそらめん(夏)・夏祭り(夏)・ハロウィン(秋)・クリスマス会(冬)・餅つき大会(年末)・マジックショー(不定期)・親子サッカー(不定期)・消防訓練(年2回)・保育キャラバン(近隣の保育園の行事参加)・保護者会(製作・演奏・ビンゴ大会・グループ絵紙ほか)。			

こぼんはうすさくら堺教室 児童発達支援 平日午前のプログラム

法人理念	「すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけてさしあげる集団になろう！」
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実：一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供する。</li> <li>・小集団活動の促進：コミュニケーション力や社会性を育むために、小集団での活動を取り入れる。</li> <li>・スモールステップの学習：無理のないペースで成功体験を積み重ね、自信を育てる。</li> <li>・感覚統合アプローチ：感覚の偏りに配慮し、適切な感覚刺激を提供することで身体の使い方をサポートする。</li> <li>・言語発達支援：理解語彙や表出語彙を増やし、コミュニケーションの幅を広げる支援を行う。</li> <li>・日常生活動作の習得：生活に必要な動作を自立して行えるよう支援する。</li> <li>・協調運動・粗大運動：身体の使い方やバランス感覚を養い、運動能力の向上を目指す。</li> <li>・微細運動の発達支援：手先の器用さを育てるために、運筆やボタン掛けなどのトレーニングを取り入れる。</li> <li>・音韻意識の向上：言葉のリズムや音を意識し、文字の学習につなげる支援を行う。</li> <li>・視覚的支援の活用：スケジュールや課題を見える化し、理解しやすい環境を整える。</li> <li>・安心できる環境づくり：児童が安心して活動できるよう、配慮の行き届いた環境を提供する。</li> <li>・保護者様との連携：定期的な相談や情報共有を行い、家庭と連携しながら支援を進める。</li> </ul> <p>※このような支援方針を基に、児童一人ひとりの成長を支える環境を整えていきます。</p>
営業時間	9時30分～17時30分

プログラム	平日午前( 9時30分～12時40分 )の支援内容(5領域)
生活習慣 構造化 (9時30分/15分)	手洗い・体温チェック・荷物の整理・排泄習慣・スケジュールや時間・環境・手順の構造化・衣類の着脱(身支度)など、生活スキルの向上。
リズムウォーク (10時00分)	ピアノのリズムに合わせて白線に沿って円を描きながら歩き、身体模倣(カニ、飛行機、蝶、カメなど)や、色の指示遂行、片足立ちなど身体動作を行う(模倣による社会性の発達・指示遂行による認知の発達・身体移動やバランス感覚など運動の発達、リフレッシュによるその後の着席や集中のしやすさ)、動→静へ(自律神経の調整力)。
はじまりの会 (10時10分)	朝のご挨拶・はじまりの歌(手遊び歌)・お名前とお返事「はい」・リズムお名前呼びの歌「(名前)です」・言語レッスン(バナナの歌・絵カードフラッシュ(名詞の音声模倣)・こぼんの一日(名詞と動詞の音声模倣)・色・身体部位の音声模倣)。
集団活動 (10時20分)	5領域(健康生活・運動感覚・認知行動・言語コミュニケーション・人間関係社会性)のプログラムの実施(スタッフによるオーダーメイドで考案された内容で、日々バラエティに富んだ内容)。
運動 (10時35分)	主に、前庭覚や固有受容感覚の発達を促進する日替わり運動プログラムの実施(感覚統合)。
個別課題 (10時50分)	保護者様のニーズを踏まえ、専門職による専門的支援計画(6か月)の内容に即して、各児童ごとの発達状況に応じた発達促進課題を個別・集中的に実施する(課題によっては集団の場や自由遊びの機会を利用して個別・集中的に専門職が関わる場合もあり)。
自由遊び (11時50分)	応用行動分析(ABA)の理論にのっとり、課題への取り組み→好きなおもちゃを選んで遊ぶことの随伴性を持たせることで、課題への取り組みを強化させる。おもちゃの貸し借り、ルールを守っての共同遊びなど、遊びを通じた社会性の促進の機会。二項関係から三項関係への促進の機会。
おわりの会 (12時20分)	手遊び歌・絵本読み聞かせ・二語文模倣or口角模倣(ピアノのリズム+絵カード提示)・ハイタッチの歌(各児童とハイタッチ)・季節の歌・お帰りのご挨拶・保護者様への療育のフィードバック。
<b>家族支援</b>	
保護者のニーズを踏まえ、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。子育ての困りごとへの相談支援。保護者同士の交流の機会提供(保護者会の開催)。兄弟姉妹への相談支援。	
<b>移行支援</b>	
インクルージョンの推進。年長児に対する就学準備プログラムの実施。就学相談支援(MSPA=どのような支援を必要としているかを明らかにする心理検査の実施)。併用利用先や園との情報共有や支援のすり合わせ。	
<b>地域支援・地域連携</b>	
併用事業所や園との支援方法や環境調整の情報共有や連携支援。相談支援事業所との情報共有と具体的な支援についての考案、連携。防災を含めた地域住民や関係機関との連携。行事による交流(ハロウィン・餅つき大会ほか)。	
<b>職員の質の向上</b>	
個人的な研修参加への受講補助。本部からのSVの派遣(実際の事象について行動観察後、具体的な支援についての提案)。虐待防止・身体拘束・感染症の必須研修の受講。定期的な支援会議の開催。多職種スタッフの輪番制による支援研修の実施。	
<b>主な行事等</b>	
流しそうめん(夏)・夏祭り(夏)・ハロウィン(秋)・クリスマス会(冬)・餅つき大会(年末)・親子サッカー(不定期)・消防訓練(年2回)・保育キャラバン(近隣の保育園の行事参加)・保護者会(製作・演奏・ビンゴ大会・グループ箱庭ほか)。	

こぱんはうすさくら堺教室 児童発達支援 平日午後のプログラム

法人理念	「すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけてさしあげる集団になろう！」
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実：一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供する。</li> <li>・小集団活動の促進：コミュニケーション力や社会性を育むために、小集団での活動を取り入れる。</li> <li>・スモールステップの学習：無理のないペースで成功体験を積み重ね、自信を育てる。</li> <li>・感覚統合アプローチ：感覚の偏りに配慮し、適切な感覚刺激を提供することで身体の使い方をサポートする。</li> <li>・言語発達支援：理解語彙や表出語彙を増やし、コミュニケーションの幅を広げる支援を行う。</li> <li>・日常生活動作の習得：生活に必要な動作を自立して行えるよう支援する。</li> <li>・協調運動・粗大運動：身体の使い方やバランス感覚を養い、運動能力の向上を目指す。</li> <li>・微細運動の発達支援：手先の器用さを育てるために、運筆やボタン掛けなどのトレーニングを取り入れる。</li> <li>・音韻意識の向上：言葉のリズムや音を意識し、文字の学習につなげる支援を行う。</li> <li>・視覚的支援の活用：スケジュールや課題を見える化し、理解しやすい環境を整える。</li> <li>・安心できる環境づくり：児童が安心して活動できるよう、配慮の行き届いた環境を提供する。</li> <li>・保護者様との連携：定期的な相談や情報共有を行い、家庭と連携しながら支援を進める。</li> </ul> <p>※このような支援方針を基に、児童一人ひとりの成長を支える環境を整えていきます。</p>
営業時間	9時30分～17時30分

プログラム	平日午後(13時50分～17時00分 / 14時20分～17時30分)の支援内容(5領域)
生活習慣構造化 (常時)	手洗い・体温チェック・荷物の整理・排泄習慣・スケジュールや時間・環境・手順の構造化・衣類の着脱(身支度)など、生活スキルの向上。
個別課題 (13時55分 14時25分)	保護者様のニーズを踏まえ、専門職による専門的支援計画(6か月)の内容に即して、各児童ごとの発達状況に応じた発達促進課題を個別・集中的に実施する(課題によっては集団の場や自由遊びの機会を利用して個別・集中的に専門職が関わる場合もあり)。
自由遊び (15時30分)	応用行動分析(ABA)の理論にのっとり、課題への取り組み→好きなおもちゃを選んで遊ぶことの随伴性を持たせることで、課題への取り組みを強化させる。おもちゃの貸し借り、ルールを守っての共同遊びなど、遊びを通した社会性の促進の機会。二項関係から三項関係への促進の機会。
おやつ (15時55分)	5～6種類から好みのものを選択(アレルギーのあるお子さまは、ご家庭よりご持参いただく)。
はじまりの会 (16時05分)	お昼のご挨拶・はじまりの歌(手遊び歌)・今日の日付とお天気・お名前とお返事「はい」・パカカラ体操(口腔機能の向上)・質問と応答・静と動(自律神経の調整力)。
集団活動 (16時20分)	5領域(健康生活・運動感覚・認知行動・言語コミュニケーション・人間関係社会性)のプログラムの実施(スタッフによるオーダーメイドで考案された内容で、日々バラエティに富んだ内容)。
運動 (16時40分)	運動サーキット(マット運動・太鼓橋渡り・移動ジャンプor移動ケンケン・トンネルくぐり・一本橋渡り)。
おわりの会 (16時50分)	絵本の読み聞かせ・お帰りのご挨拶・保護者様への療育のフィードバック。
<b>家族支援</b>	
保護者のニーズを踏まえ、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。子育ての困りごとへの相談支援。保護者同士の交流の機会提供(保護者会の開催)。兄弟姉妹への相談支援。	
<b>移行支援</b>	
インクルージョンの推進。年長児に対する就学準備プログラムの実施。就学相談支援(MSPA=どのような支援を必要としているかを明らかにする心理検査の実施)。併用利用先や園との情報共有や支援のすり合わせ。	
<b>地域支援・地域連携</b>	
併用事業所や園との支援方法や環境調整の情報共有や連携支援。相談支援事業所との情報共有と具体的な支援についての考案、連携。防災を含めた地域住民や関係機関との連携。行事による交流(ハロウィン・餅つき大会ほか)。	
<b>職員の質の向上</b>	
個人的な研修参加への受講補助。本部からのSVの派遣(実際の事象について行動観察後、具体的な支援についての提案)。虐待防止・身体拘束・感染症の必須研修の受講。定期的な支援会議の開催。多職種スタッフの輪番制による支援研修の実施。	
<b>主な行事等</b>	
流しそうめん(夏)・夏祭り(夏)・ハロウィン(秋)・クリスマス会(冬)・餅つき大会(年末)・親子サッカー(不定期)・消防訓練(年2回)・保育キャラバン(近隣の保育園の行事参加)・保護者会(製作・演奏・ビンゴ大会・グループ箱庭ほか)。	

こぱんはうすさくら堺教室 児童発達支援 土曜日・日曜日午前のプログラム

法人理念	「すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけてさしあげる集団になろう！」
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実：一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供する。</li> <li>・小集団活動の促進：コミュニケーション力や社会性を育てるために、小集団での活動を取り入れる。</li> <li>・スモールステップの学習：無理のないペースで成功体験を積み重ね、自信を育てる。</li> <li>・感覚統合アプローチ：感覚の偏りに配慮し、適切な感覚刺激を提供することで身体の使い方をサポートする。</li> <li>・言語発達支援：理解語彙や表出語彙を増やし、コミュニケーションの幅を広げる支援を行う。</li> <li>・日常生活動作の習得：生活に必要な動作を自立して行えるよう支援する。</li> <li>・協調運動・粗大運動：身体の使い方やバランス感覚を養い、運動能力の向上を目指す。</li> <li>・微細運動の発達支援：手先の器用さを育てるために、運筆やボタン掛けなどのトレーニングを取り入れる。</li> <li>・音韻意識の向上：言葉のリズムや音を意識し、文字の学習につなげる支援を行う。</li> <li>・視覚的支援の活用：スケジュールや課題を見える化し、理解しやすい環境を整える。</li> <li>・安心できる環境づくり：児童が安心して活動できるよう、配慮の行き届いた環境を提供する。</li> <li>・保護者様との連携：定期的な相談や情報共有を行い、家庭と連携しながら支援を進める。</li> </ul> <p>※このような支援方針を基に、児童一人ひとりの成長を支える環境を整えていきます。</p>
営業時間	9時30分～17時30分

プログラム	土曜日・日曜日午前(9時30分～12時40分)の支援内容(5領域)
生活習慣 構造化 (9時30分/常時)	手洗い・体温チェック・荷物の整理・排泄習慣・スケジュールや時間・環境・手順の構造化・衣類の着脱(身支度)など、生活スキルの向上。
リズムウォーク (10時00分)	ピアノのリズムに合わせて白線に沿って円を描きながら歩き、身体模倣(カニ、飛行機、蝶、カメなど)や、色の指示遂行、片足立ちなど身体動作を行う(模倣による社会性の発達・指示遂行による認知の発達・身体移動やバランス感覚など運動の発達、リフレッシュによるその後の着席や集中のしやすさ)。
はじまりの会 (10時10分)	朝のご挨拶・はじまりの歌(手遊び歌)・お名前とお返事「はい」・リズムお名前呼びの歌「(名前)です」・言語レッスン(バナナの歌・絵カードフラッシュ(名詞の音声模倣)・こぱんの日(名詞と動詞の音声模倣)・色・身体部位の音声模倣)。
集団活動 (10時20分)	5領域(健康生活・運動感覚・認知行動・言語コミュニケーション・人間関係社会性)のプログラムの実施(スタッフによるオーダーメイドで考案された内容で、日々バラエティに富んだ内容)。2つの小集団。
運動 (10時35分)	運動サーキット(マット運動・太鼓橋渡り・移動ジャンプor移動ケンケン・トンネルくぐり・一本橋渡り・バランスストーン・バランスディスク)。
個別課題 (10時50分)	保護者様のニーズを踏まえ、専門職による専門的支援計画(6か月)の内容に即して、各児童ごとの発達状況に応じた発達促進課題を個別・集中的に実施する(課題によっては集団の場や自由遊びの機会を利用して個別・集中的に専門職が関わる場合もあり)。
自由遊び (11時50分)	応用行動分析(ABA)の理論の通り、課題への取り組み→好きなおもちゃを選んで遊ぶことの随伴性を持たせることで、課題への取り組みを強化させる。おもちゃの貸し借り、ルールを守っての共同遊びなど、遊びを通じた社会性の促進の機会。二項関係から三項関係への促進の機会。
おわりの会 (12時20分)	手遊び歌・絵本読み聞かせ・二語文模倣or口角模倣(ピアノのリズム+絵カード提示)・ハイタッチの歌(各児童とハイタッチ)・季節の歌・お帰りのご挨拶・保護者様への療育のフィードバック。
<b>家族支援</b>	
保護者のニーズを踏まえ、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。子育ての困りごとへの相談支援。保護者同士の交流の機会提供(保護者会の開催)。兄弟姉妹への相談支援。	
<b>移行支援</b>	
インクルージョンの推進。年長児に対する就学準備プログラムの実施。就学相談支援(MSPA=どのような支援を必要としているかを明らかにする心理検査の実施)。併用利用先や園との情報共有や支援のすり合わせ。	
<b>地域支援・地域連携</b>	
併用事業所や園との支援方法や環境調整の情報共有や連携支援。相談支援事業所との情報共有と具体的な支援についての考案、連携。防災を含めた地域住民や関係機関との連携。行事による交流(ハロウィン・餅つき大会ほか)。	
<b>職員の質の向上</b>	
個人的な研修参加への受講補助。本部からのSVの派遣(実際の事象について行動観察後、具体的な支援についての提案)。虐待防止・身体拘束・感染症の必須研修の受講。定期的な支援会議の開催。多職種スタッフの輪番制による支援研修の実施。	
<b>主な行事等</b>	
流しそうめん(夏)・夏祭り(夏)・ハロウィン(秋)・クリスマス会(冬)・餅つき大会(年末)・親子サッカー(不定期)・消防訓練(年2回)・保育キャラバン(近隣の保育園の行事参加)・保護者会(製作・演奏・ビンゴ大会・グループ箱庭ほか)。	

こぱんはうすさくら堺教室 児童発達支援 日曜日午後(就学前)のプログラム

法人理念	「すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけてさしあげる集団になろう！」
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実:一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供する。</li> <li>・小集団活動の促進:コミュニケーション力や社会性を育むために、小集団での活動を取り入れる。</li> <li>・スモールステップの学習:無理のないペースで成功体験を積み重ね、自信を育てる。</li> <li>・感覚統合アプローチ:感覚の偏りに配慮し、適切な感覚刺激を提供することで身体の使い方をサポートする。</li> <li>・言語発達支援:理解言葉や表出言葉を増やし、コミュニケーションの幅を広げる支援を行う。</li> <li>・日常生活動作の習得:生活に必要な動作を自立して行えるよう支援する。</li> <li>・協調運動・粗大運動:身体の使い方やバランス感覚を養い、運動能力の向上を目指す。</li> <li>・微細運動の発達支援:手先の器用さを育てるために、運筆やボタン掛けなどのトレーニングを取り入れる。</li> <li>・音韻意識の向上:言葉のリズムや音を意識し、文字の学習につなげる支援を行う。</li> <li>・視覚的支援の活用:スケジュールや課題を見える化し、理解しやすい環境を整える。</li> <li>・安心できる環境づくり:児童が安心して活動できるよう、配慮の行き届いた環境を提供する。</li> <li>・保護者様との連携:定期的な相談や情報共有を行い、家庭と連携しながら支援を進める。</li> </ul> <p>※このような支援方針を基に、児童一人ひとりの成長を支える環境を整えていきます。</p>
営業時間	9時30分～17時30分

プログラム	日曜日午後・就学前プログラム(13時50分～17時00分)の支援内容(5領域)
生活習慣構造化 (常時)	手洗い・体温チェック・荷物の整理・排泄習慣・スケジュールや時間・環境・手順の構造化・衣類の着脱(身支度)など、生活スキルの向上。
はじまりの会 (14時00分)	お昼のご挨拶・今日の日付とお天気・お名前とお返事「はい」(出欠)。
集団療育 (14時05分) 休み時間 (14時20分)	ホワイトボードと机を配置し、小学校の教室のような環境で、一人ひとりの発達段階や特性、得意不得意に配慮しながらの個別対応を基本に就学前準備の療育を行う。学校生活のルールやコツ・授業を受ける時のルールの確認・時間割で動こう・休み時間・トイレ習慣・交通ルール・自己紹介・個別の教科学習の土台スキル(カレンダーや時計・読み書き・数・短期記憶・製作・SST・その他認知発達課題)など豊富な題材。
集団療育 (14時25分) 休み時間 (14時40分)	同上(時間割形式)。
集団療育 (14時45分) 休み時間 (15時00分)	同上(時間割形式)。
集団療育 (15時05分) おやつ (15時20分)	同上(時間割形式)。 おやつは、5～6種類から好みのものを選択(アレルギーのあるお子さまは、ご家庭よりご持参いただく)。
集団活動 (15時30分)	5領域(健康生活・運動感覚・認知行動・言語コミュニケーション・人間関係社会性)のプログラムの実施(スタッフによるオーダーメイドで考案された内容で、日々バラエティに富んだ内容)。
運動 (15時50分)	運動サーキット(マット運動・太鼓橋渡り・移動ジャンプor移動ケンケン・トンネルくぐり・一本橋渡り・バランスストーン・大縄跳び・最後に瞑想)。
自由遊び (16時10分)	応用行動分析(ABA)の理論にのっとり、課題への取り組み→好きなおもちゃを選んで遊ぶことの随伴性を持たせることで、課題への取り組みを強化させる。物の貸し借り、ルールを守っての共同遊びなど、遊びを通した社会性の促進の機会。
おわりの会 (16時40分)	絵本の読み聞かせ・お帰りのご挨拶・保護者様への療育のフィードバック。
<b>家族支援</b>	
保護者のニーズを踏まえ、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。子育ての困りごとへの相談支援。保護者同士の交流の機会提供(保護者会の開催)。兄弟姉妹への相談支援。	
<b>移行支援</b>	
インクルージョンの推進。年長児に対する就学準備プログラムの実施。就学相談支援(MSPA=どのような支援を必要としているかを明らかにする心理検査の実施)。併用利用先や園との情報共有や支援のすり合わせ。	
<b>地域支援・地域連携</b>	
併用事業所や園との支援方法や環境調整の情報共有や連携支援。相談支援事業所との情報共有と具体的な支援についての考案、連携。防災を含めた地域住民や関係機関との連携。行事による交流(ハロウィン・餅つき大会ほか)。	
<b>職員の質の向上</b>	
個人的な研修参加への受講補助。本部からのSVの派遣(実際の事象について行動観察後、具体的な支援についての提案)。虐待防止・身体拘束・感染症の必須研修の受講。定期的な支援会議の開催。多職種スタッフの輪番制による支援研修の実施。	
<b>主な行事等</b>	
流しそうめん(夏)・夏祭り(夏)・ハロウィン(秋)・クリスマス会(冬)・餅つき大会(年末)・親子サッカー(不定期)・消防訓練(年2回)・保育キャラバン(近隣の保育園の行事参加)・保護者会(製作・演奏・ビンゴ大会・グループ箱庭ほか)。	